

第54号



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://web.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp



謹
賀
新
年

新年ごあいさつ

社会福祉法人双葉会
法人本部事務局長 大野 尚

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。ご利用者の皆様、ご家族の皆様には、健康やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から、社会福祉法人双葉会が経営する事業運営に対しましては、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。当法人も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました。

さて、私は昨年10月発行の「寿楽荘だより」でもご挨拶させていただきましたが、奥多摩町役場から双葉会に研修派遣でお世話になり、既に半年が経過いたしました。経過した半年間の職務内容ですが、氷川保育園内に席を置き当法人が経営する寿楽荘、琴清苑、双葉会診療所、そして氷川保育園の各事業所の諸行事や会議などに参加、出席してまいりました。その中で、私が多くの時間を過ごす氷川保育園での一日や諸行事で気づかされたことに、少し触れてみたいと思います。

まず、園児が元気にあいさつを行えること。保育士の指導の下、夏場の炎天下のなかで運動会に向けて体操などの演技を一生懸命行ったこと。年長の園児が年下の園児をかばいながら散歩の様子。昼食時に必ず聞こえてくるのが「おとうさまうおかあさまうせんせい」いたadakimasu「おとうばんさまごころうさまでした」どうぞめしあがれうadakimasu。と、最初は事務所の中にいるときには、何を言っているのか不明でしたが、ウエルカムランチをいただく折に、園児に教えていただき納得しました。また、運動会の折、小川幸男理事長のご挨拶のなかで「子どもは親の背中を見て育つ」・・・とお話されました。むかしから言われ伝えられてきた言葉ですが、しばらく忘れておりましたので、「ハッ」と気づかされました。今の世も通用する大切なことではないでしょうか。

本年も、皆様から頼りにされる法人を目指して質の高いサービスを提供するよう努力してまいりますので、更なるご支援を心からお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

「東京都福祉サービス第三者評価」 結果報告について

平成24年度東京都福祉サービス第三者評価において、ご家族様にはアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。調査結果につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション」<http://www.fukunavi.or.jp>の第三者評価に掲載されますので、そちらをご覧ください。

【評価機関：経営創研株式会社】



短期入所生活介護（ショートステイ） 食費取扱変更のお知らせ

短期入所生活介護（ショートステイ）利用時の食事については、1日あたりの単価として設定しておりましたが、平成24年10月1日より喫食数単位でのご請求へと変更になりました。介護保険負担限度額認定証をお持ちの方は、今までどうり記載金額を超えるご負担はありませんのでご安心ください。

平成24年9月30日まで 1日あたり1,380円

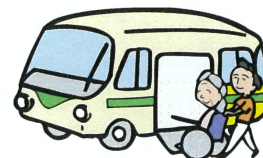
平成24年10月1日より

朝食 350円

昼食 580円

夕食 450円

(計1,380円)



職員募集のお知らせ

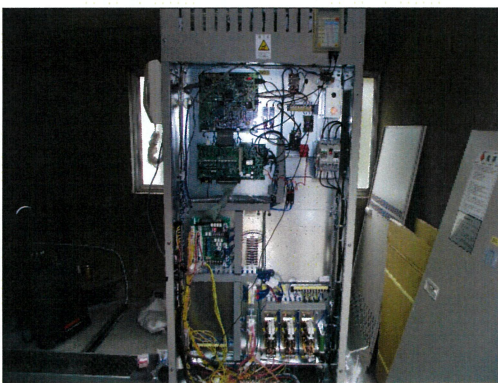
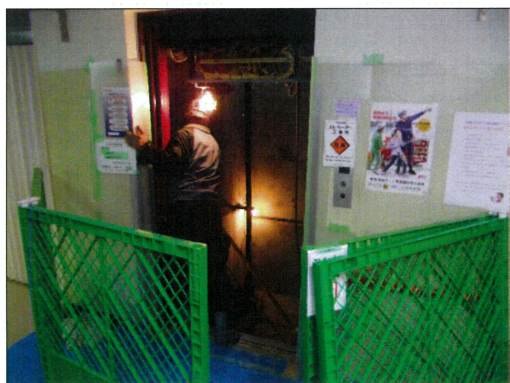
ご家族の方で、介護職として琴清苑で働いていただける方が居ましたら、ご連絡をお待ちしています。
年齢、性別は不問です。



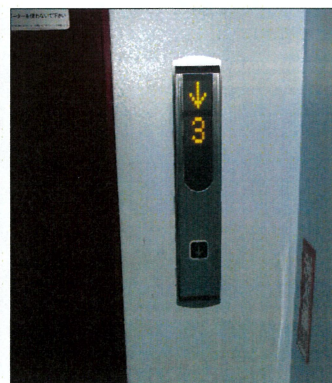
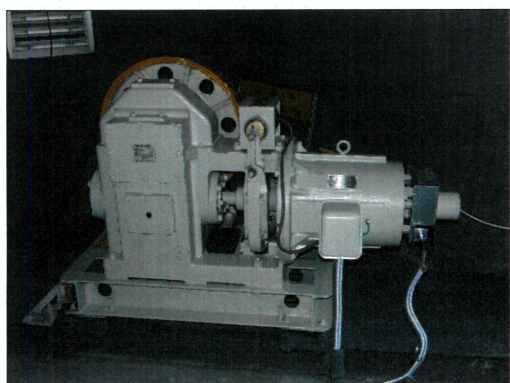
下記ポスター
氷川保育園児からの
贈り物



昇降機設備リニューアル工事

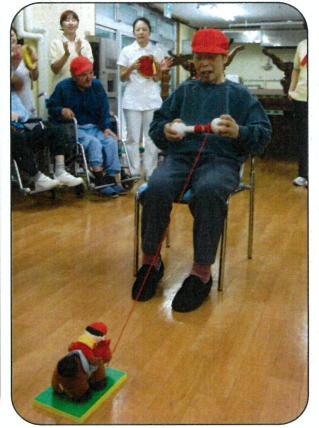


12月17日から21日にかけてエレベーターのリニューアル工事を行いました。より安全にご利用いただけました。様に、主要部品の交換を行いました。また、工事期間中エレベーターがご利用になれず、ご不便をおかけしました。誠に申し訳ございませんでした。



運動会

10月5日に1階のリハビリと喫茶コーナーを開放して運動会が行なわれました。33名の利用者が参加されて楽しい一時を過ごされました。



年忘れお楽しみ会



12月10日から14日の5日間、サービスマナー委員会が中心になり2階娛樂室にイルミネーションの装飾を行いました。11日(火)にはホーム喫茶、14日(金)には氷川保育園の園児の皆さんに來苑していただき、誕生会&年忘れお楽しみ会を行いました。園児の唄や踊り・利用者の唄・職員の出し物等で大盛り上がりがある行事を実施することが出来ました。



琴清苑職員紹介



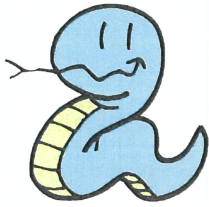
栄養士

新堀 裕昭

平成24年4月1日付けで栄養士として辞令を頂いた新堀裕昭です。

今までは厨房で食事を作ることをしていたので、その経験を生かして美味しい食事を提供できるように頑張りたいと思います。また栄養士としての利用者様の健康の増進と身体維持、食べやすい食事の提供など利用者様に喜んで貰えるように努力をしていき、その他にも利用者様が参加できるホーム喫茶などを行い、施設生活を充実したものにしていきたいと考えております。

未熟者ではございますが、今後とも向上心とやる気をもって働いていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



もし地球が1mの球だったら

琴清苑医師 柚木 雅至

あけましておめでとうございます。昭和が終わってからもう四半世紀が過ぎようとしていると思うと、あまりの時の流れの早さに愕然としてしまいます。この四半世紀にインターネットや携帯端末は爆発的に普及し、まさに情報革命の真っただ中を生き

ずかな地殻変動によって、その方法も地球上の生命にとって決して安全ではないことを思い知らされました。そして今、どうすれば地球の自然を破壊せずに人類が存続していけるのか、真剣に議論されるようになってきました。

普段私たちはまるで保育器の中のように整えられた環境で過ごし、享楽のために多大なエネルギーを消費して生活することが当たり前になっていますが、気候や環境が過酷な状況以外では、必ずしも必要ではない過剰な快適さも多々あるのではないかと思います。かくいう私も今暖房をガンガンかけながらこの原稿を書いているので、決して偉そうなことではないのですが、あの計画停電の時に、人工音が途絶え、自然の水はスプーン1杯、石油の埋蔵量はゴマ1粒分、石炭はその4分の1ほどしかないそうです。人間の大きさではウィルスほどのサイズでしかありませんが、この生物は結構頭が良かったので、自然を都合よく利用改造し、自らの利便性を追求することで発展し、地球の支配者となりました。化石燃料が有限で、また二酸化炭素が温暖化をもたらすことを知ると、今度は原子力を使って発電する方法を

も生み出しました。しかし地球のわ

行事予定

1月1日	新年挨拶
お雛子	
誕生会	
2月3日	節分
8日	誕生会
15日	涅槃会
3月8日	誕生会
22日	彼岸供養



《入苑された利用者》

平成二十四年十月～十二月

10月	奥多摩町	1名
10月	三鷹市	1名
10月	足立区	1名
11月	世田谷区	1名
12月	東村山市	1名

《ボランティア状況》

平成二十四年十月～十二月 (敬称略)

介護補助	トミヨ会
杉山 初	
指圧奉仕	
奥多摩奉仕会	



◆ 編集後記 ◆

雪が降ると不便な事が多いが、奥多摩の杉の山に、雪が積もった様はとても美しい。深い緑に真っ白な雪・・・今年は何度見られるでしょう。